三浦 紗綾子

1. 授業の概要(ねらい)

自分で考えるという能力を身につけることを目標に、自分が興味あることを見つけ、それについてじっくり考えるということを行っていく。具体的には輪読とゼミナール論文(個人論文)の準備を通じてそれを行う。 また、夏期休業中にはグループ論文を作成し、他大学の先生やゼミ生との合同合宿にてそれに関する発表・議論を行

2. 授業の到達目標

自分で考える能力を身につけるのが目標である。

3. 成績評価の方法および基準

提出されたレジュメ(輪読並びにゼミナール論文)(70%)、演習Iでの発言内容・参加態度(30%)を対象に、目標に照 らした達成度で評価する。レジュメの提出、演習Iでの議論参加のために、ゼミへの出席は必須である。

4. 教科書·参考文献

参考文献

苅谷剛彦 『知的複眼思考法』 講談社、2002。

本多勝一 『日本語の作文技術』 朝日新聞社、2015。

鴻上尚史 『あなたの魅力を演出するちょっとしたヒント』 講談社、2003。

5. 準備学修の内容

授業時間外に、レジュメ作成を行う。

6. その他履修上の注意事項

輪読に使用する課題図書は、学生と相談の上決定する。

7. 授業内容

イントロダクション 【第1回】

【第2回】 輪読①

【第3回】 輪読②

輪読③ 【第4回】

【第5回】 ゼミナール論文発表・議論①

【第6回】 輪読④

【第7回】 輪読⑤

【第8回】 輪読⑥

【第9回】 ゼミナール論文発表・議論②

【第10回】 輪読⑦

【第11回】 輪読⑧

【第12回】 輪読⑨

ゼミナール論文発表・議論③ 【第13回】

【第14回】 輪読⑩

【第15回】 輪読⑪